

平成 29 年度 第 1 回 島田宿大井川川越遺跡整備委員会

日時 平成 29 年 7 月 25 日

午後 2 時～午後 4 時

場所 島田市博物館

次 第

1. 開会

2. 島田市教育委員会 文化課長兼博物館長 あいさつ

3. 議事

(報告事項)

・平成 28 年度事業について

(協議事項)

・平成 29 年度事業について

(1) 島田宿大井川川越遺跡整備基本計画策定事業

(2) 調査活動

(3) ワークショップ、講演会

(4) 委員会

4. その他

会議の日程について

3. 議事

(報告事項)

・平成28年度事業について

(1) 構想策定

島田宿大井川川越遺跡整備基本構想策定業務委託 (株)フジヤマ 7月～3月

(2) 史跡購入

川会所跡購入 653.40㎡



(3) 調査活動

① 塚本家住宅建造物調査 7月14日～10月21日

島田市への取得要望のあった河原町の塚本家住宅の建物調査を実施。→民間による保存・活用を支援



② 二番宿西・川会所跡試掘調査 11月15日～1月31日

平成27・28年度で買上げた史跡指定地の試掘調査を実施。

川会所跡からは石列遺構が確認された。→資料1



(4) 委員会

① 川越遺跡整備委員会 9月24日、12月12日

② 整備基本構想策定委員会・幹事会 8月31日、11月14日、3月17日

(5) 講演会

第2回川越遺跡講演会 2月4日 河原町公会堂

講演会「よみがえれ歴史空間！史跡整備と川越遺跡」(高瀬委員)

座談会「どうなる？どうしたい？川越遺跡の整備と活用」

(座談会の意見)

- ・地元でも昔の様子を知らない人が増えているので聞き取り調査をやってほしい。
- ・昔の川越しの実態を分かりやすく紹介して欲しい。
- ・川越街道にしかない魅力を上手に情報発信すれば応援してくれる人は集まると思う。
- ・町並みの話を地域の人と観光客が対話できるのが良い。
- ・遺跡を公有化しないで維持している方法を模索する必要がある。
- ・ここにしかない土産を販売してはどうか。島田にお金が落ちるしくみを。
- ・軽トラ市をやってはどうか。
- ・浴衣・着物のレンタルをやってはどうか。
- ・新東海製紙の壁に昔の旅人の絵を描いてはどうか。
- ・車の通行規制をしてほしい。



(協議事項)

・平成29年度事業計画について

(1) 計画策定

島田宿大井川川越遺跡整備基本計画策定業務委託 6月～2月 (2ヵ年)

委託業者：(株)フジヤマ →資料2

(2) 調査活動

川会所跡・七番宿跡発掘調査 8月～9月 →資料3

(3) ワークショップ、講演会

①明日の川越遺跡を考えるワークショップ 7月22日、8月5日、26日 →資料4

②川越遺跡講演会(建部委員) 11月4日(土) 市役所 本庁会議棟 大会議室
(仮称)「川越遺跡と歴史的建造物の保存と活用」

明日の川越遺跡を考えるワークショップ報告

(4) 委員会

①川越遺跡整備委員会 7月25日、10月中旬、12月中旬

②整備基本計画策定委員会・幹事会 7月5日(視察)、11月中旬、1月中旬

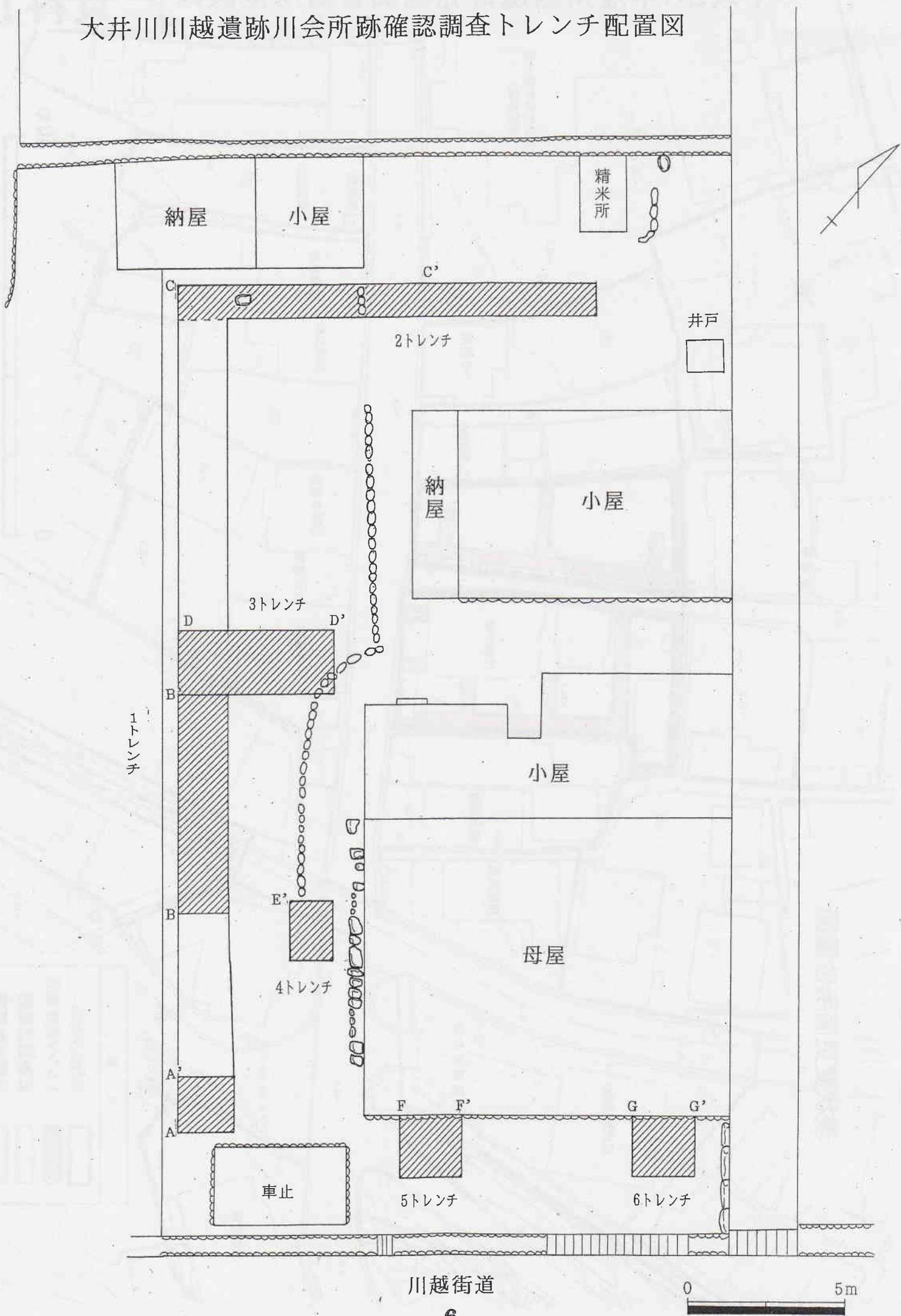


名古屋市有松 重要伝統的建造物群保存地区



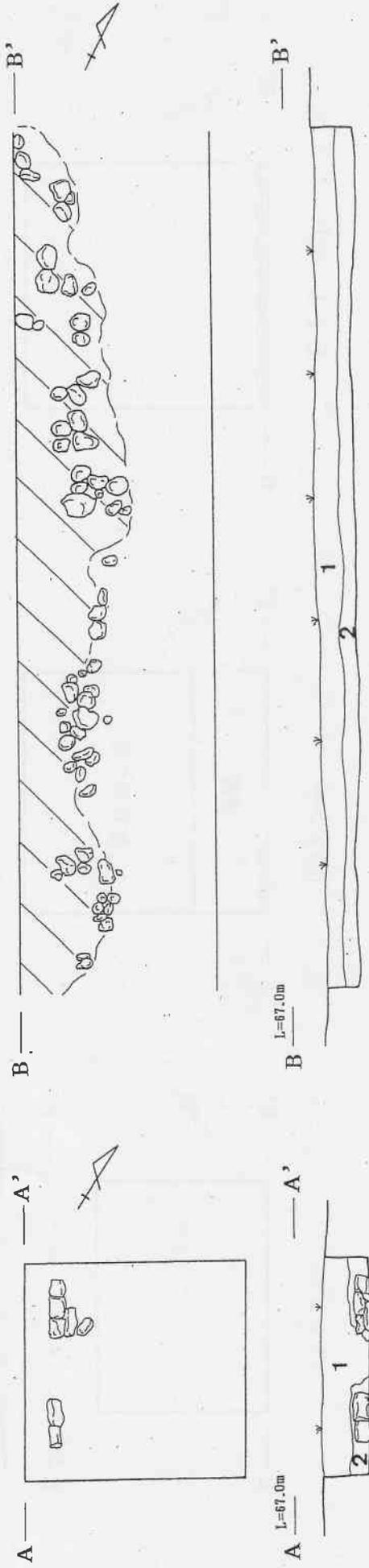
豊橋市二川 商家駒屋

大井川川越遺跡川会所跡確認調査トレンチ配置図

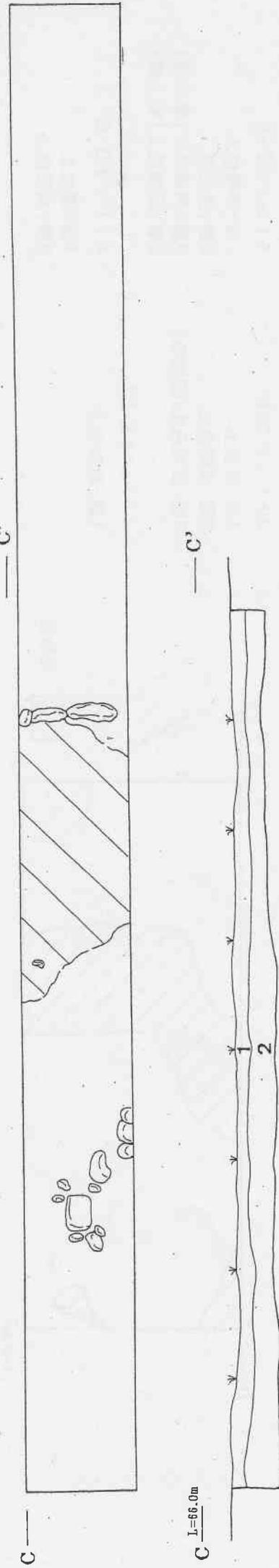


大井川川越遺跡川会所跡確認調査トレンチ平面図及び断面図(1)

1トレンチ

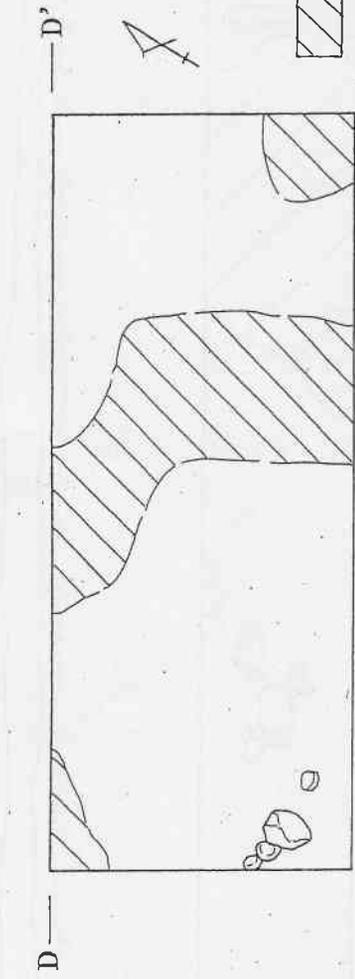


2トレンチ



大井川川越遺跡川会所跡確認調査トレンチ平面図及び断面図(2)

3トレンチ



3トレンチD-D'

- 1層: 黒色土
- 2層: 灰褐色土
- 3層: 黄褐色土(整地層)

5トレンチF-F'

- 1層: 茶褐色土
- 2層: 黒色土
- 3層: 黄褐色土(整地層)
- 4層: 灰褐色土(粘土層)

4トレンチE-E'

- 1層: 暗灰色土

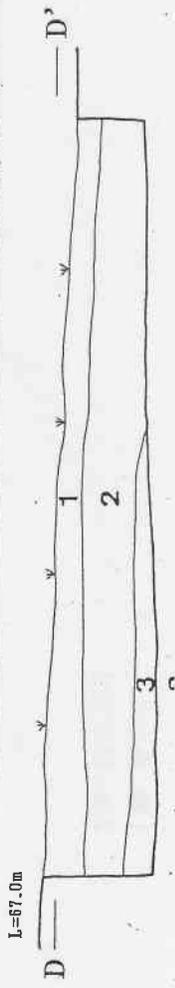
6トレンチG-G'

- 1層: 黒色土
- 2層: 黄褐色土

整地面



L=67.0m



4トレンチ



E—E'

L=67.0m

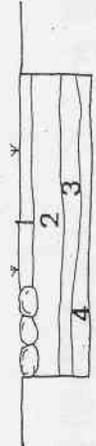


5トレンチ

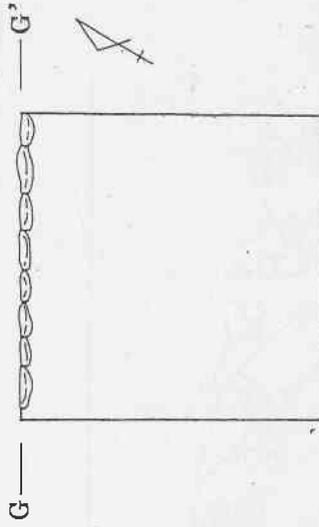


F—F'

L=67.0m

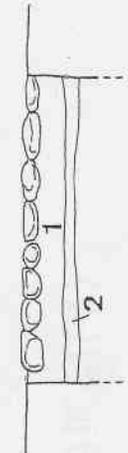


6トレンチ

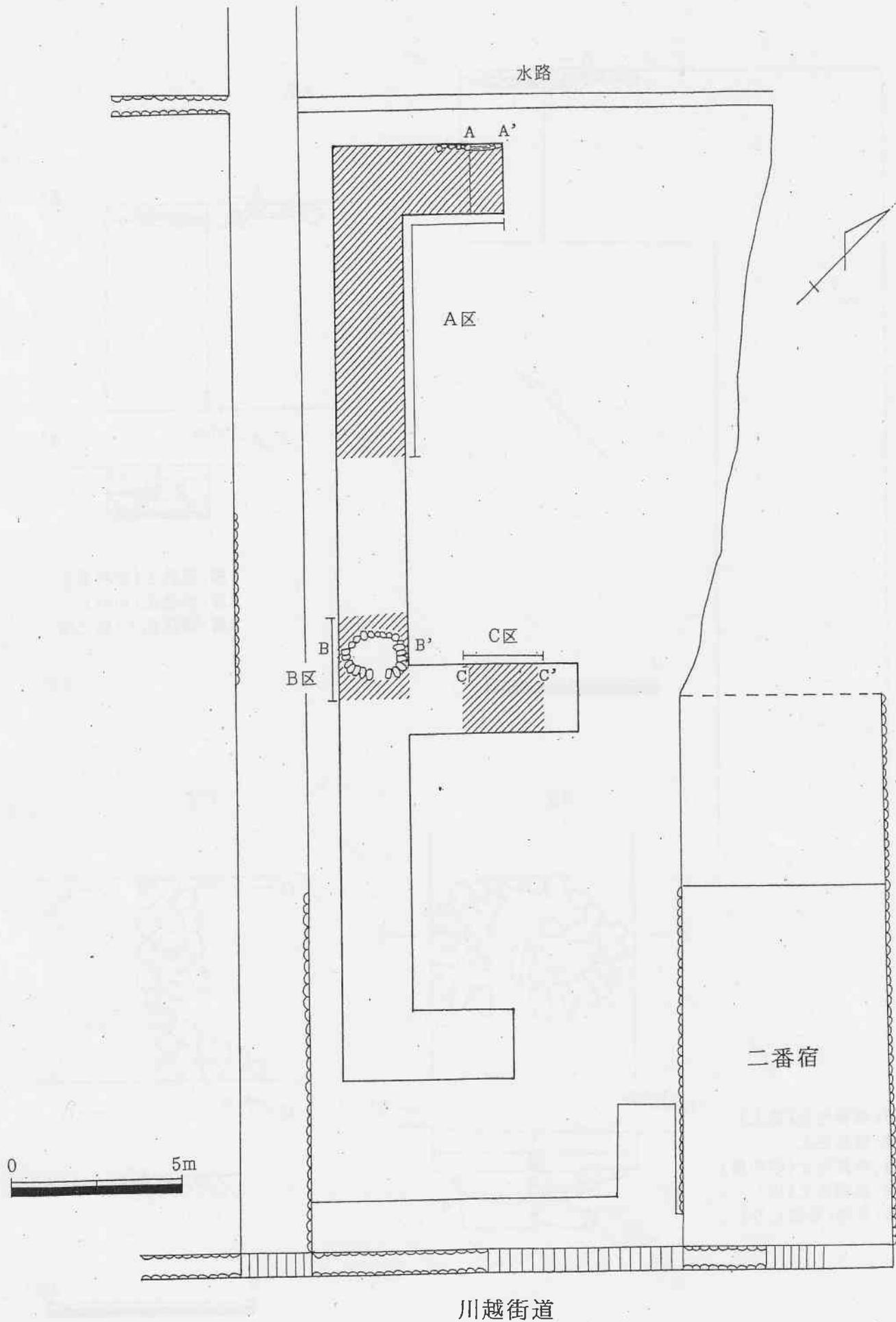


G—G'

L=67.0m

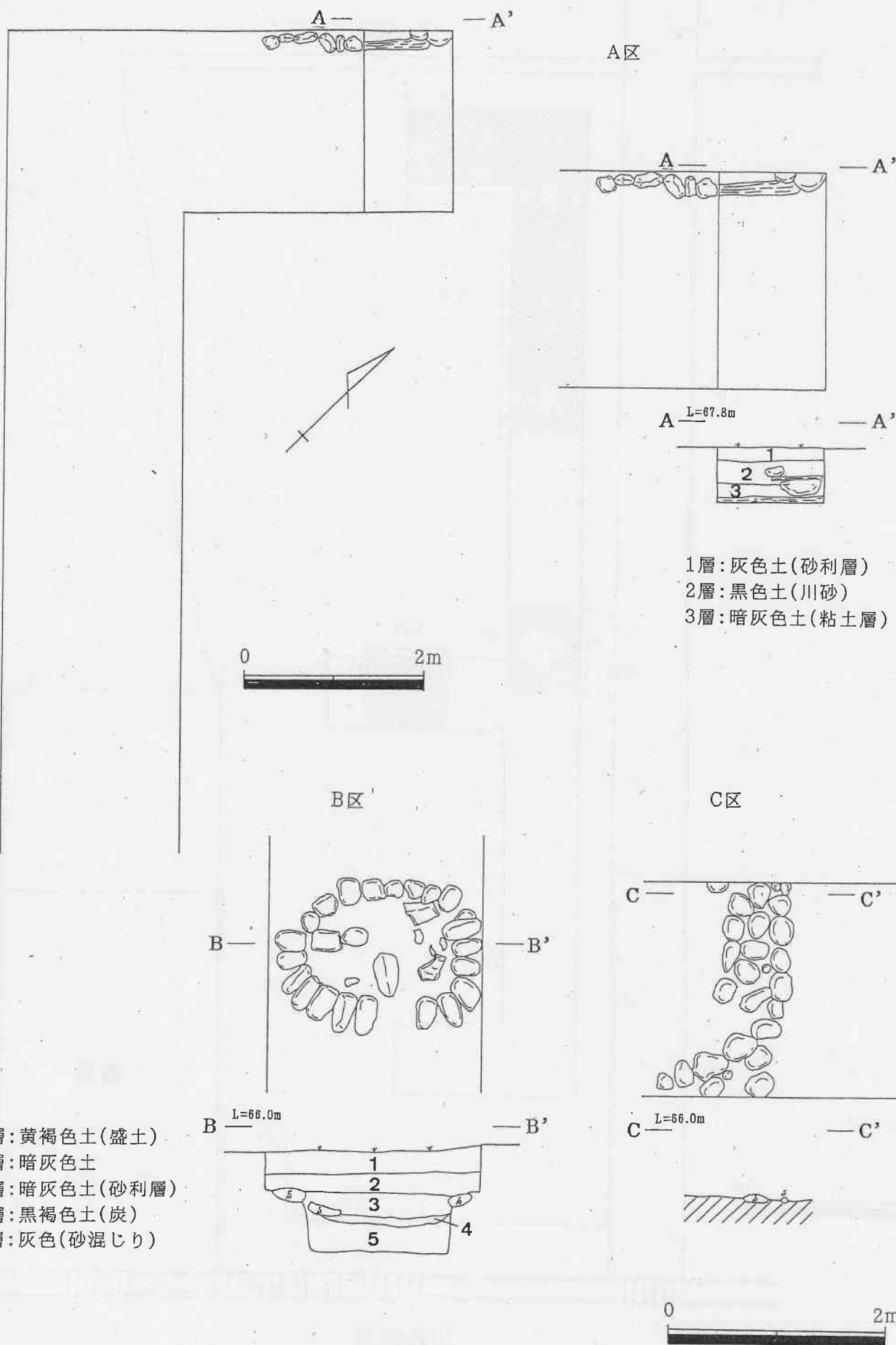


大井川川越遺跡二番宿確認調査トレンチ配置図



川越街道

大井川川越遺跡二番宿確認調査トレンチ平面図及び断面図





1 トレンチ
南から北を望む



1 トレンチ
石列遺構



2トレンチ
西から東を望む



2トレンチ
志戸呂焼出土



井戸



3トレンチ



4トレンチ



5トレンチ



6トレンチ

100cm
100cm



二番宿西 発掘調査写真



西トレンチ
南から北を望む



西トレンチ
北から南を望む



西トレンチ

円形石列遺構

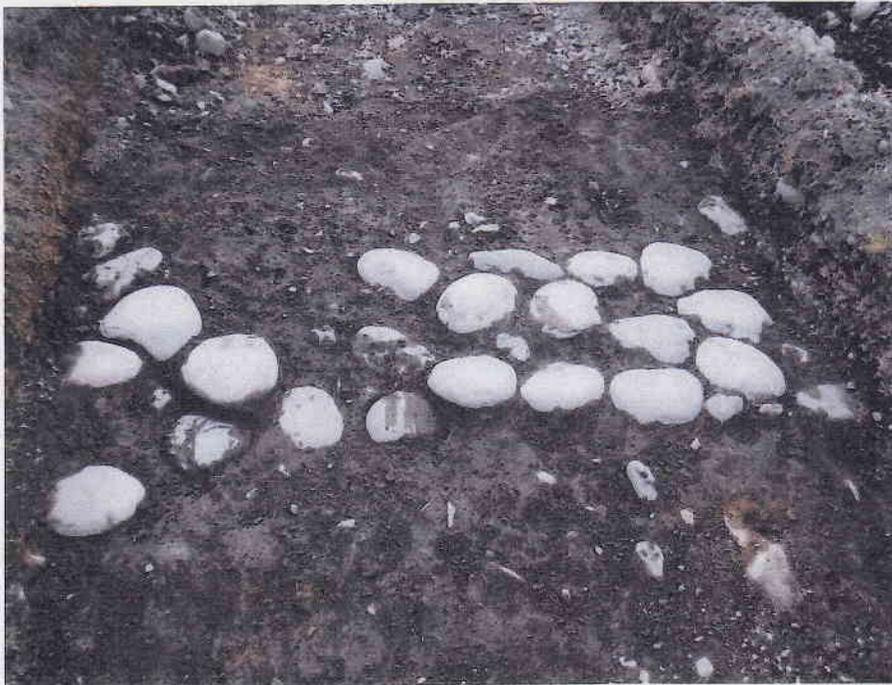


北トレンチ

石列遺構



北トレンチ
水路遺構

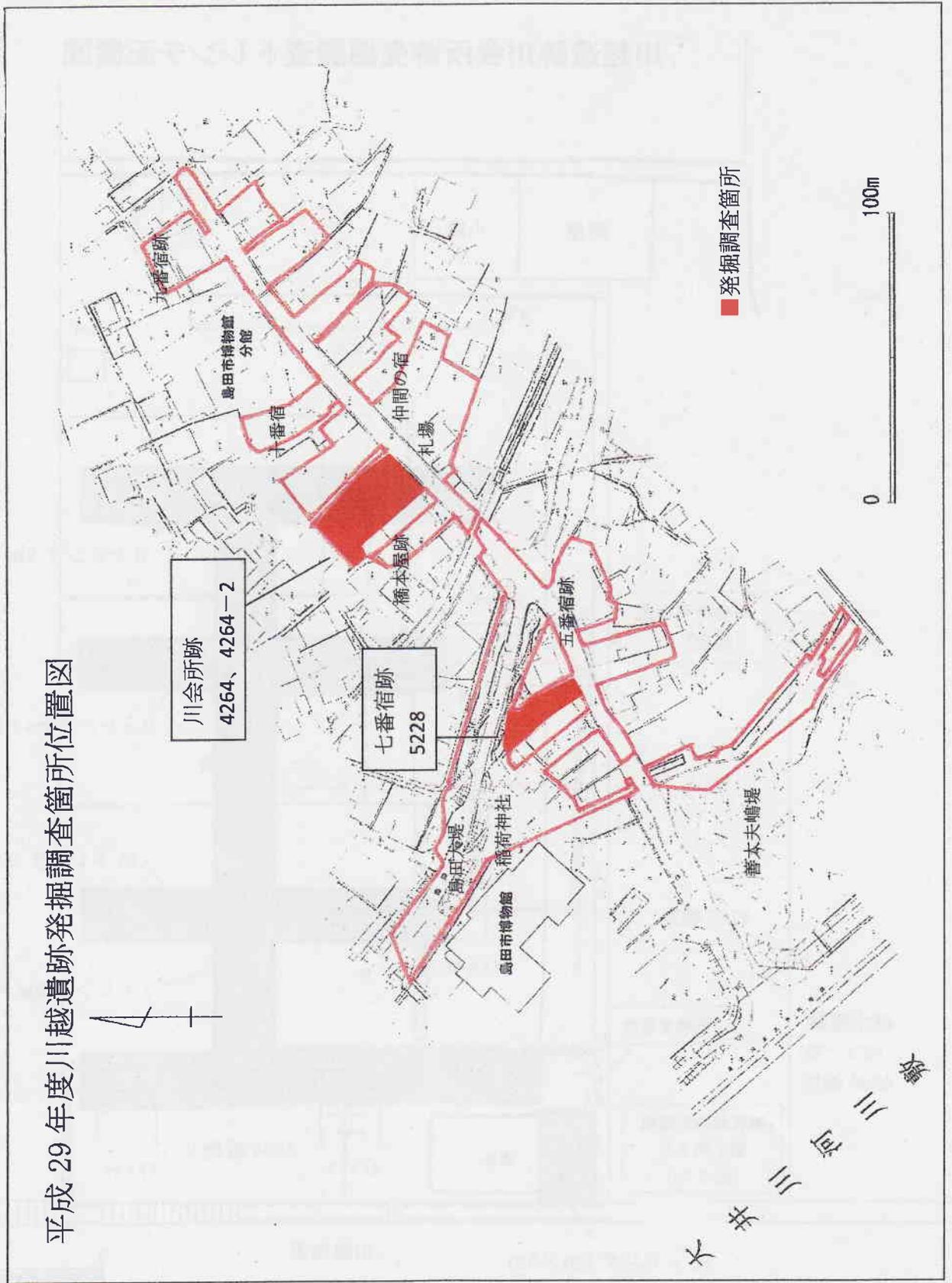


南トレンチ
石敷遺構

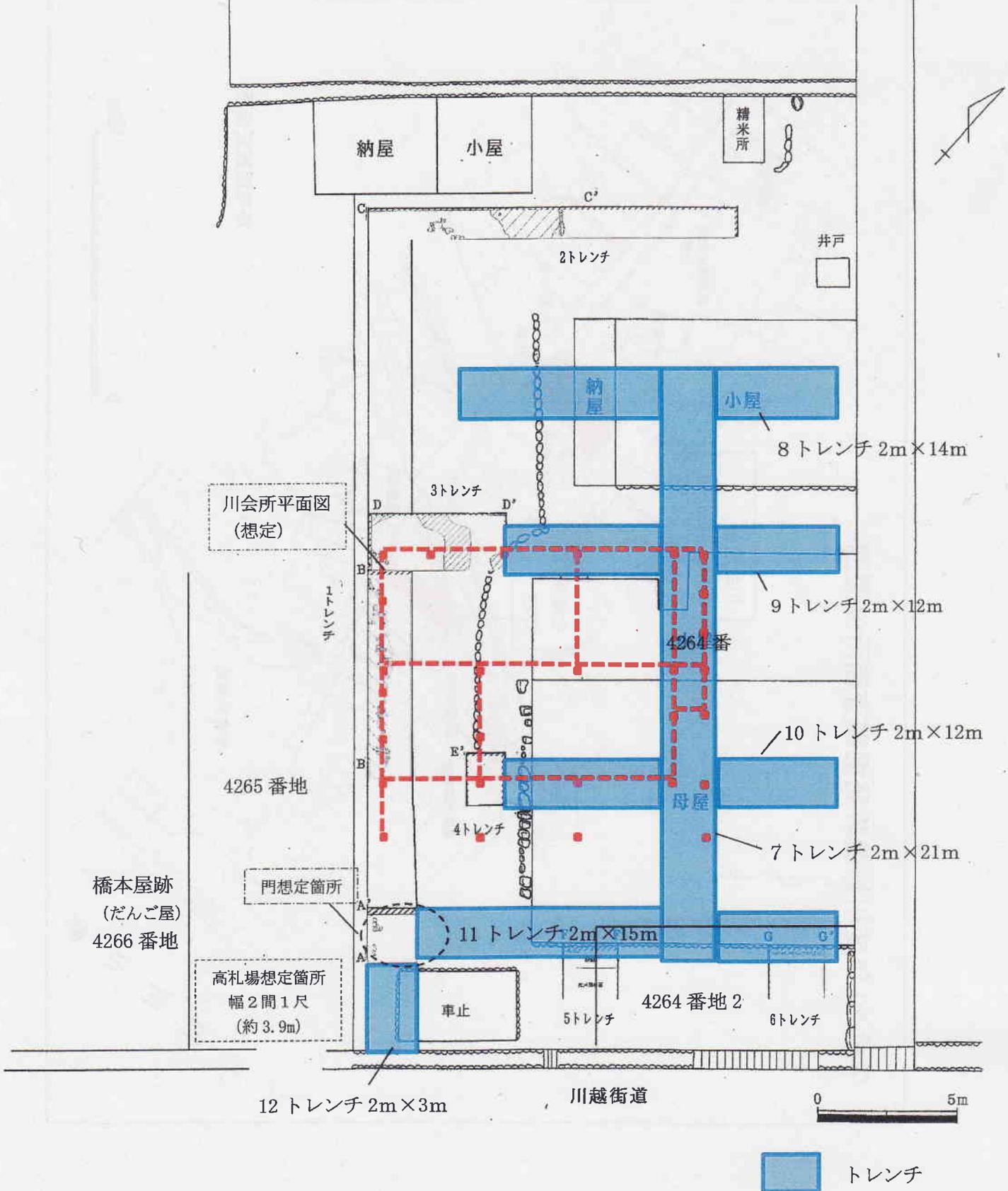
■島田宿大井川川越遺跡整備基本計画策定スケジュール(案)

		平成29年度											
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
業務内容	1 計画準備		→										
	2 計画策定の経緯と目的		→	→									
	3 計画地の現状		→	→									
	4 史跡等の概要及び現状と課題		→	→									
	5 整備基本計画												
	ア 全体計画及び地区区分計画						↑						
	イ 遺構保存に関する計画						↑						
	ウ 修復に関する計画						↑						
	エ 動線計画						↑						
	オ 地形造成に関する計画								↑				
	カ 遺構の表現に関する計画								↑				
	キ 修景及び植栽に関する計画								↑				
	ク 案内・解説施設に関する計画								↑				
	ケ 管理施設及び便益施設に関する計画								↑				
	コ 公開・活用及びその他の施設に関すること								↑				
	サ 周辺の環境保全に関する計画								↑				
	シ 地域全体における関連文化財等との有機的な整備活用に関する計画									↑			
ス 整備事業に必要な調査等に関する計画										↑			
セ 公開・活用に関する計画										↑			
ソ 管理・運営に関する計画										↑			
タ 事業推進のための年度計画											↑		
6 中間報告書の作成												↑	
7 委員会等の参加			①									②	③
打合せ協議(必要に応じて対応)		●										●	●

平成 29 年度川越遺跡発掘調査箇所位置図



川越遺跡川会所跡発掘調査トレンチ配置図



- 7 トレンチ・・・昨年度調査した2 トレンチで検出した石列遺構を川会所建物西壁の布基礎の石列と仮定し、川会所建物平面プラン（赤線）を重ね、建物の東側面の想定ラインに7 トレンチを設定した。
- 8 トレンチ・・・昨年度の調査の際には小屋が存在したため、調査できなかった部分にトレンチを入れて遺構の有無を確認する。
- 9 トレンチ・・・3 トレンチの延長に当たる位置で、2 トレンチで検出した石列遺構の端を建物の北西柱位置と仮定し、建物北壁の想定位置に合わせて9 トレンチを設定した。
- 10 トレンチ・・・4 トレンチの延長に当たる位置で、建物の南面の基礎想定ラインに10 トレンチを設定した。
- 11 トレンチ・・・昨年度調査した1 トレンチ A-A' の石列遺構の東側に設定したトレンチ。4264 番地と4264 番地2 の北側の筆境にあたる。4264 番地2 は明治17年の「地籍図」では赤道だった場所で、街道が川会所側に張り出した部分にあたる。また、11 トレンチの西描かれた『東海道分間延絵図』に描かれた門が街道から少し入り込んで描かれていることから、門とそれに連なる柵などの工作物の位置を11 トレンチに想定した。
- 12 トレンチ・・・昨年度調査した1 トレンチを南に延長した部分で、12 トレンチの西側隣地（4265 番地）に『東海道分間延絵図』に描かれた高札場を想定した。絵図に描かれた門と高札場の位置関係を探るため、今回12 トレンチとして設定した。

※発掘調査の状況に応じて、調査範囲を拡張する。



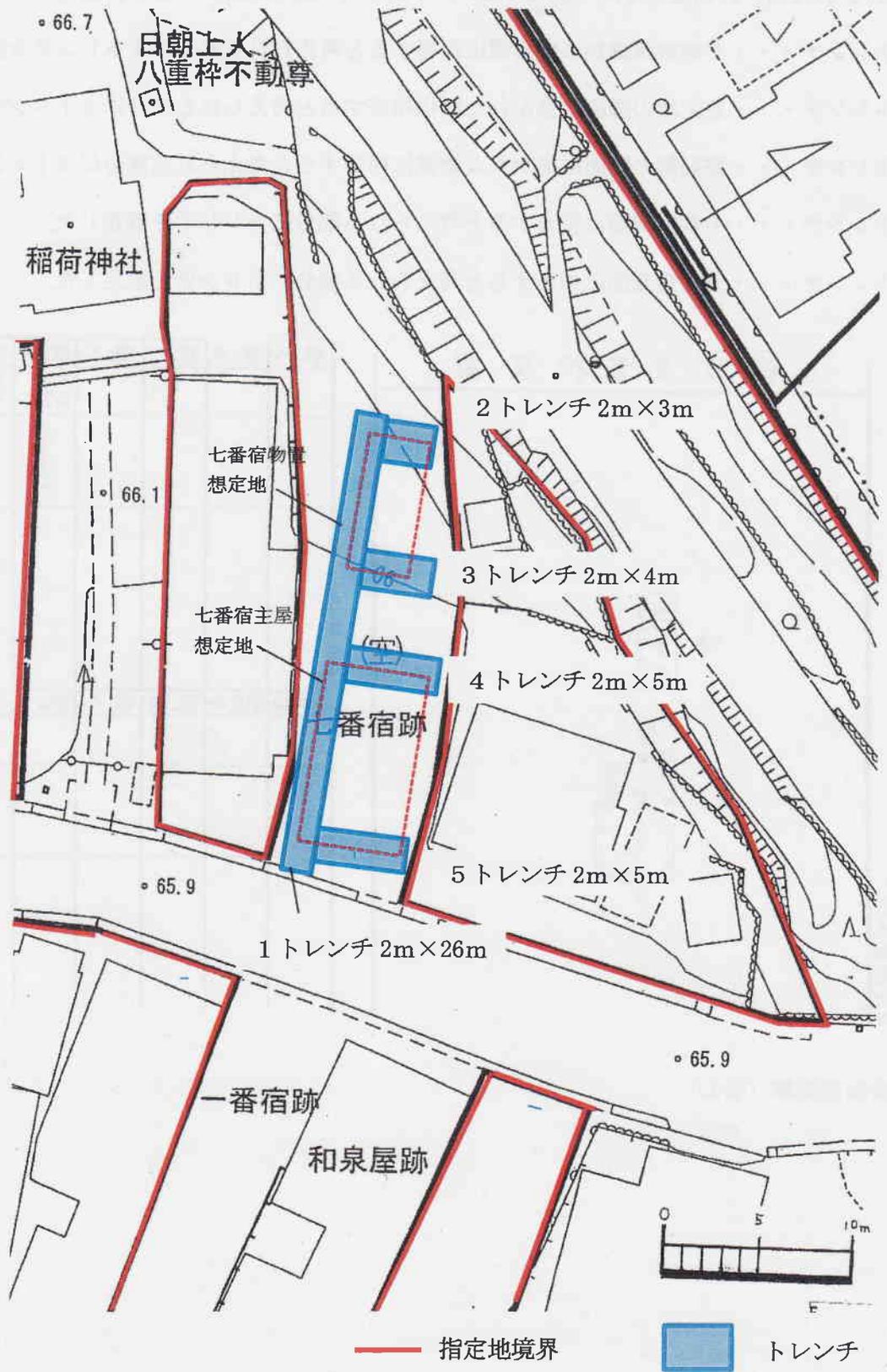
「地籍図」(明治17年)



『東海道分間延絵図』 (川会所付近拡大)



川越遺跡七番宿跡発掘調査トレンチ配置図



川越遺跡を考えるワークショップ開催要項

1. 目的 島田宿大井川川越遺跡は現在、史跡整備のための計画づくりを進めています。この史跡整備においては、ただ単に過去の状態を復元し、来訪者に見学していただくだけでなく、史跡としての保存とともにその利活用が求められています。史跡の利活用については、今後、活用の主体となるべく一般市民の自由な発想やアイデアを取り入れ、整備基本計画や事業に反映しようとするものです。
2. 事業概要 川越遺跡の現状をワークショップ参加者に知ってもらい、2グループに分かれて長所や問題点などを洗い出し、今後の活用・整備案をそれぞれのグループでまとめ、最後にグループごと発表してもらう。
3. 日時・内容
第1回 平成29年7月22日(土) 現地見学、状況確認、長所・問題点抽出
第2回 8月5日(土) 活用方法の提案・検討、事業計画の検討
第3回 26日(土) 活用・整備方法の検討・取りまとめ、発表
※各回午後1時30分から午後4時30分まで
4. 会場 島田市博物館 整理工作室
5. 参加者条件 15歳以上の65歳未満の人で市内に在住する人、もしくは在勤・在学する人
6. 募集人員 16人(応募者多数の場合は選考により決定します)
7. 募集期間 平成29年5月16日(火)から6月23日(金)まで
8. 募集方法 広報しまだ、博物館ホームページ、チラシ・ポスターほか
9. 応募方法 電話、FAX、で氏名・性別・年齢・住所・電話番号・職業をご連絡下さい。
10. 申し込み先 島田市博物館 分館 電話34-3216 FAX37-8900(本館)
11. 担当 博物館係 主査 望月伸嘉 内線72-607

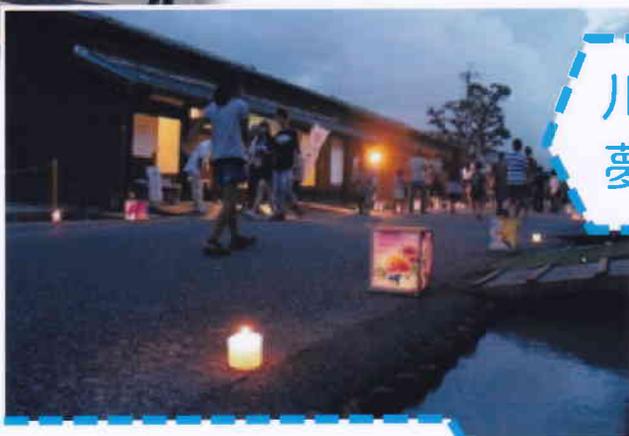
みんなで未来図を描こう

明日の川越遺跡を 考えるワークショップ

参加者募集中



「川越遺跡」の保存だけでなく、歴史遺産として活用したり、心地よい史跡のまちづくりを目指しています。あなたの何気ない疑問やアイデアが「川越遺跡」をより魅力的に輝かせます。みなさんで一緒に考えてみませんか。



川越遺跡の将来について
夢や希望を語りませんか。



専門知識はいりません。

学生さん、主婦やいろいろな方
のご意見を求めています。



開催日 平成 29 年

7/22_±・8/5_±・8/26_±

参加無料

(全3回)

時間 午後1時30分～午後4時30分

会場 島田市博物館 本館(整理工作室)

内容 参加者のみなさんに、今後の「島田宿大井川川越遺跡」の活用方法や整備についてディスカッションしていただき、遺跡の未来図を作ります。

対象 全日程に参加できる市内在住、在勤、在学の高校生以上の方

定員 16人(応募者多数の場合、抽選を実施)

お申込み 5月16日(火)～6月23日(金)の応募期間に、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を電話またはファックスにて博物館分館までお申し込み下さい。

第1回 明日の川越遺跡を考えるワークショップ 記録簿

会議名称	第1回明日の川越遺跡を考えるワークショップ	
事務局	島田市教育委員会 文化課文化財係	
開催日時	平成29年7月22日(土) 午後1時30分～午後4時40分	
開催場所	島田市博物館 1階 整理工作室、川越遺跡	
概要	市内に在住・在勤・在学の高校生から70代後半の方まで19人が参加し、川越遺跡より良くするためにどうしたら良いか考えるワークショップを開催した。参加者は川越遺跡のこれまでの経過や現状の課題についての説明を聞いた後、実際に川越遺跡とその周辺を見て周り、問題点などをチェックし、3グループに分かれて、それぞれ気付いた問題点等を書き出して情報共有を行なった。	
出席者	参加者	市内に在住・在勤・在学の高校生から70代後半の方まで19人(申し込み22人)のうち高校生8人、大学生1人、農家、サラリーマン、飲食店経営者、観光ガイドほか)
	整備委員	渡辺和敏委員長、荒井完治郎委員、松井三宜委員
	コンサルタント	(株)フジヤマ 岡部剛、片岡義明、秋田幸宏
	事務局	中村課長、増田課長補佐、朝比奈主任学芸員、望月主査、川島嘱託員
配布資料	島田宿大井川川越遺跡保存管理計画、島田宿大井川川越遺跡整備基本構想、川越遺跡の経過と現状ほか	



左上：現地点検 右上：課題の抽出作業
左下：川会所での記念写真

第1回川越遺跡ワークショップ 課題の抽出事項（まとめ）

分 類	内 容
良い点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 札場など扉を開けたままなので、興味を持ちやすい。 2. お土産屋がある。 3. 屋号がいい。 4. タイムスリップしたような空間にしたら素晴らしい遺跡になる。 5. 八重樫と秋葉神社が2つもあってすごい。 6. 分館前に昔の川が残っていてすごい（分間延絵図と現況を比較）。 7. 川越茶屋の風鈴がきれいだった。 8. 建物・町並みが良く保存されている。 9. 分館がとても落ち着く。 10. 風情を感じる（旧道の感じが出ている）。 11. のんびりしている。雰囲気がいい（木造の家や田んぼも）。静かな環境を保っている。 12. 史跡がコンパクトである（まとまっている）。 13. 駐車場が広い。無料である。 14. チラシ・地図が見やすい。 15. 文化・資料的なものが多い。（博物館・川会所） 16. 昔の状態をイメージしやすい。川役人・人足の人形（イメージしやすい） 17. 川札の説明が細かく書かれている。 18. 島田大堤の桜並木がいい。 19. 電線がないのが良い。 20. 地域住民と話ができる。 21. 仲間の井戸がある。小川がある。水路の水が澄んでいる。 22. 現存する川会所は島田のみ（大きなアピールポイント）。 23. 地割が残っている。 24. 案内看板がある。
悪い点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 車が多くて落ち着かない。 2. 案内看板が小さく気付きにくい。 3. こどもから大人まで、外国人にもわかる表記がない。 4. 史跡に関する説明がない。 5. 遺跡の範囲の外になると風景ががらりと変わってしまう。 6. 外から来る人に川越遺跡があることが分かりにくい。 7. 新東海製紙の壁が殺風景。この先に遺跡があるか分からない。 8. 自販機の色が風景を邪魔している。→色を茶色っぽい色に。 9. 蓬莱橋と川越街道とのつながりが弱い。 10. 飲食店、土産物店が少ない。 11. 飲食できるフリースペースがない。 12. テレビアンテナが街道に合わない。 13. 駅からのアクセスが悪い。路線バスがない（観光地として路線バスを通してほしい）。 14. 大井川堤防に昔風の信号をつけて欲しい。 15. 堤防から川の際まで整備して欲しい。 16. バリアフリー対応になっていない。（分館の敷居が高いので足の悪い人達が入りにくい。）高齢者に優しくない（スロープなどが無い）。

	<ul style="list-style-type: none"> 17. 土曜日なのに観光客が少ない。 18. 空き地が目立つ。 19. 統一感がない（家並みなど）。町並みと関係ないつくりの家があった。 20. 案内看板が統一されていない。日本語表記しかない。 21. 細かいところが残念なところ。 22. 防犯設備が整っていない。 23. 住民にとって制約されている。 24. 住環境と一体。（住民の暮らしと関係。車の出入りと人の往来と両立困難） 25. 分館の料金が少し高い。 26. 民俗資料室がせっかく面白いものが揃っているのにアピール不足？ 27. トイレがない。 28. 芭蕉句碑の台が貧弱。 29. 番宿が無人（単に展示物になっている）。 30. 各番宿の入口から裏口へと通り抜けができないので、行き止まり的な雰囲気になっている。ゆっくり中まで見る気がしない。 31. 仲間の井戸の位置がを見つけづらい。 32. 雑草が目立つ。くもの巣も。 33. 演出が足りない。
<p>特徴的な点 ・その他気付いた点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 和泉屋さんのような駄菓子屋さんに復活してもらいたい。 2. バーチャル・リアリティーの導入 3. お着物で来て、写真投稿。 4. 番宿でカフェをやる（NHKハルさんの古カフェ系に出るのを目指す）。 5. 人力車をやる。 6. 向島西バス停の名前を変える。 7. 三番宿などで定期的にヨガ、お茶、着付け、三味線、俳句など雰囲気合ったものをやる。 8. 番宿に当時の遊び体験コーナーを作る（囲碁・将棋コーナー常設）。 9. 良き場所「幸せポスト」（消印を特別なものに）のようなロコミで人気スポットになるようなものを設置。 10. 江戸時代を思わせる金魚を飾ったりする。 11. 桜堤防にベンチを設置する。桜を活かしたイベントをやる。 12. 堤防に双眼鏡を設置する。 13. 刀剣展に合わせたイベントをやる。 14. 井戸を使ったりできる体験が欲しい。 15. 松並木があったとは知らなかった。 16. 芭蕉にちなんで句会をやってはどうか？ 17. 住人との交流（老人会・こども会・婦人会）があるといい。 18. 中山道の馬籠みたいにしない方がいい。 19. せぎ跡 大井川の広さを実感できる。→うまく表現したい。 20. 本当に買いたいものを創る。 21. 川越は男の溜まり場。→女性目線からの川越は取り入れられるか？ 22. “ここが川越だ”というSNSスポット 23. 秋葉神社・八重樫稲荷神社を関連付ける。 24. 歴史的景観を活かす（桜井邸で映画ロケ）。 25. 県内外へのPR活動（たくさんの人に知ってもらう）。